

## 温室効果ガス削減計画

## 1 事業の概要

## (1) 事業所の名称

リョービ株式会社 広島工場

## (2) 事業所の所在地

広島県府中市目崎町762

## (3) 業種

2434 アルミニウム・同合金ダイカスト製造業

(4) 事業所位置図  
別図のとおり

## 2 計画の期間

本計画の期間は、平成 25 年度を基準年度とし、平成 28 年度から平成 32 年度までの 5 年間とする。

## 3 計画の基本的な方向

## &lt;リョービ環境方針&gt;

リョービは、環境マネジメントシステムを構築し、事業活動、製品及びサービスによる環境への影響が大きい項目に関して、技術的及び経済的に可能な範囲で、環境目標を設定、見直しを行い継続的な改善を図る。また、これらの活動を通じて経営計画の達成を図ると共に、社会の発展に貢献する。

1. ISO 14001:2015規格要求事項に沿った規定を制定し、実行する。
2. 環境関連の法律、規制、協定又は関連する組織が同意する環境関連要求事項を順守し、環境汚染を予防する。
3. 地球温暖化防止、省エネルギー、廃棄物の減量化及び再資源化に取り組む。
4. 緊急時に廃油、灯油、重油、廃液、薬品、化学物質等が環境に著しい影響を及ぼさないよう予防処置に努め、訓練を行う。
5. 全構成員の環境に対する意識の向上を図るため、教育・啓蒙活動を行う。
6. 環境保全活動を通じて、地域社会に貢献する。
7. この環境方針は、全構成員に周知させるとともに、一般の人にも公開する。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )				
	平成2年度	基準年度		直近年度	
		平成25年度		平成27年度	
二酸化炭素	22,097	鋳造	12,784	鋳造	10,756
		金型	1,912	金型	1,912
		合計	14,696	合計	12,668

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	
		平成 年度	平成 年度
二酸化炭素			

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO <sub>2</sub> )		
	平成2年度	基準年度	
		平成 年度	平成 年度
メタン			
一酸化二窒素			
HFC PFC SF6			

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 年度)		削減目標		目標年度 (平成 年度)
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)	
エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>					0
メタン					0
一酸化二窒素					0
フロン類					0
温室効果ガス 実排出量総計					0
温室効果ガス みなし排出量		-			0
目標設定の考え方					

※ 削減率 (b) = (c) / (a) × 100 削減量 (c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

铸造：生産重量(t)、金型：加工工数(h)

単位：排出量 (t-CO<sub>2</sub>)，原単位量 (kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類		基準年度 (平成25年度)			原単位 削減目標	基準年度 (平成32年度)		
		排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起 源CO <sub>2</sub>	铸造	12,784	7,930	1.61	4.1	10,774	6,972	1.55
	金型	1,912	114,930	0.02	23.5	1,984	156,798	0.01
非エネルギー起源CO <sub>2</sub>								
メタン								
一酸化二窒素								
フロン類								
総排出量		14,696			(h) 7.2	12,758		
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)		-	-	641.60	0.5	-	-	638.10
目標設定の考え方		<ul style="list-style-type: none"> <li>・排出量は、仕事量(売上高)予測をもとに算出。</li> <li>・排出量の1%削減を予測。</li> <li>・(h)は、铸造と金型の削減率を排出量比率で加重平均した値。</li> <li>・エネルギー消費原単位は、H28より対前年度比1.5%削減。</li> </ul>						

※ 削減率 (d) = { (c) - (g) } / (c) × 100 原単位 (c) = (a) / (b) 原単位見込 (g) = (e) / (f)



## 6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組み等

### ○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	電気使用量の削減	生産高原単位で7%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特高トランス(5000kVA)の更新</li> <li>・高効率トランスへの更新(14台)</li> <li>・集塵機(灰絞り機用)更新</li> <li>・エア配管見直しによるエアリーク損失の低減</li> <li>・鋳造機保持炉の更新</li> </ul>
2	燃料使用量の削減	生産高原単位で7%削減する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アルミ溶解炉の更新</li> <li>・鋳造機保持炉の更新 (重油炉から電気炉に更新)</li> <li>・灯油暖房からパッケージエアコンに変更</li> </ul>
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

### ○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組み(環境価値の活用等)

	種 類	合計量
1		
2		
3		

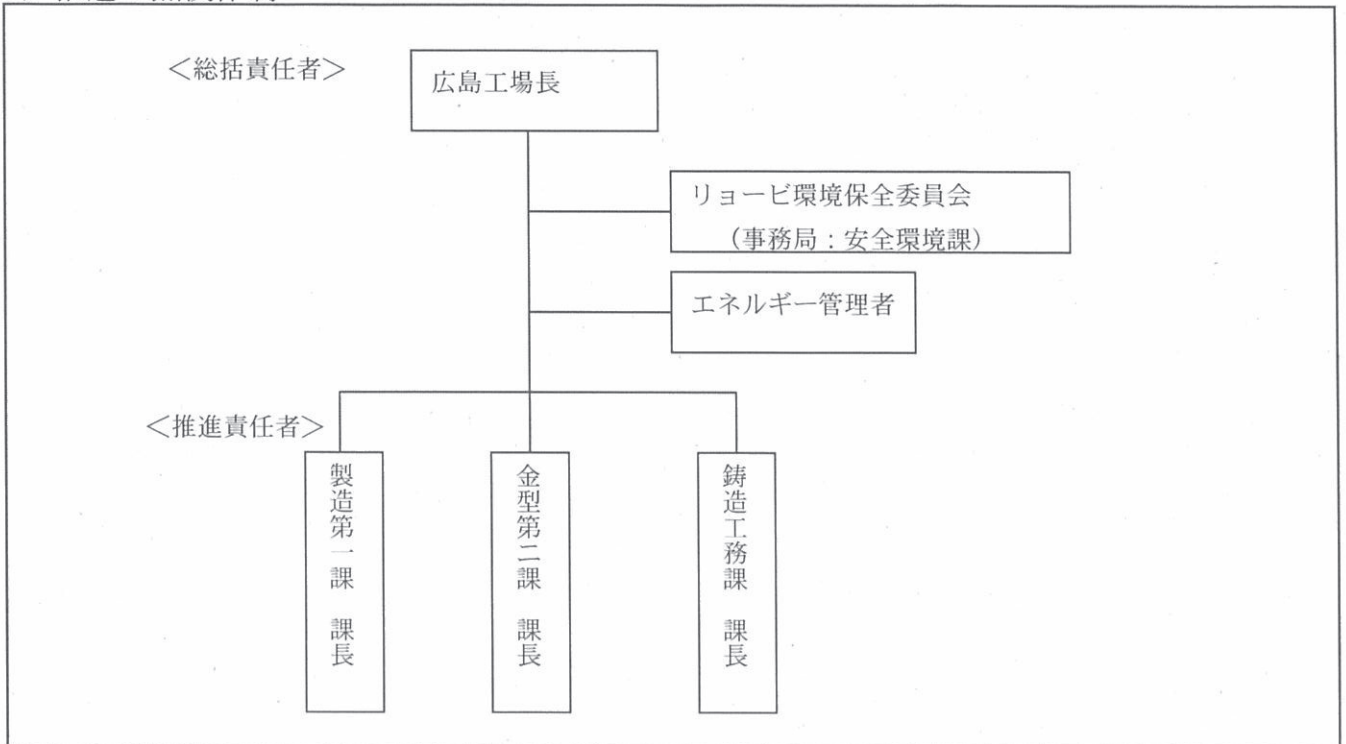
### ○ その他の取組み

	項 目	数値目標	具体的な取組み
1	廃棄物の削減	2021年3月までにリサイクル率を99%以上にする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・非リサイクル廃棄物の削減</li> <li>・廃棄物処理業者の適正選択</li> </ul>
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組みなどをされていれば記入してください。

## 7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

### (1) 推進・点検体制



### (2) 実施状況の点検・評価

安全環境課を中心として環境負荷低減目標の達成状況、施策の進捗状況の確認や問題点の検討・対策を行い、環境負荷低減目標の達成を図る。

#### <環境負荷低減目標>

##### 1. CO2削減

- ・2021年3月までにCO2排出量生産量原単位を2013年度比で、13%削減する。
- ・CO2排出量生産量原単位を対前年度比1%削減する。

##### 2. 廃棄物削減

- ・2021年3月までにリサイクル率を99%以上にする。

### (3) 計画書等の公表

広島工場の計画は、公表していないが、当社グループとしての環境負荷低減目標と実績を「社会環境報告書」および「ホームページ」に掲載している。